

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
03204	環境保全啓発事業	住民税務課	生活環境係	松井 夕起子	岡田 圭助
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 29 日	連絡先(内線)	2112
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0404	環境衛生事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	1章	美しく豊かな自然環境	
		節 (コード選択)	4節	地球環境を守る	
		項[基本施策] (コード選択)	143	啓発活動と保全活動の推進	
主な取り組み (コード選択)		1433	地域における環境学習の推進		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民及び町の環境全般

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

河川、道路及びごみ・資源物の処理をはじめとする生活環境の状況を把握すると同時に、住民が住みやすい環境をつくる。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	ごみ・資源物の適正処理、屋外焼却防止や新エネルギー導入等環境保全に関する出前講座や広報周知の実施
2	町内主要河川の水質測定(測定地点14カ所) 河川:①横川川 ②小野川 上流 ③小野川 下流 ④飯沼川 ⑤小横川川 ⑥天竜川 上流 ⑦天竜川 下流 ⑧沢底川 ⑨上野川 ⑩東天竜 ⑪上井(下流) ⑫下辰野水路 ⑬宮木せぎ ⑭鴻の田川
3	住民・区役員及びボランティア団体等によるアレチウリ駆除の実施及び行政・各団体等による河川バトロール、河川清掃の実施
4	主要道路等の騒音・振動測定及び地下水水質測定

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値	最終目標年度			
		20年度	21年度	22年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)		
①	指標名	環境保全に関する広報及び出前講座等の啓発活動		回	15	18	19	19
	説明	出前講座(地区・学校を対象)の実施数及び広報たつの等への掲載回数(有線放送、文字放送等の周知は随時実施)		目標値設定の根拠	ごみ・資源物の適正処理に関しては毎月掲載。屋外焼却防止や飼犬等の適正飼育は随時掲載。			
②	指標名	アレチウリ駆除の実施		回	13	13	14	14
	説明	アレチウリ駆除の実施回数		目標値設定の根拠	実施数(区や各種団体)			

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値	最終目標年度			
		20年度	21年度	22年度(見込み)	22年度	23年度(見込み)		
①	指標名	環境保全に関する出前講座の参加者数		人	250	330	310	310
	説明	参加人数を記載		目標値設定の根拠	収集方法の変更や上伊那管内や国の施策等により、開催回数等が変わってくる。			
②	指標名	アレチウリ駆除への参加者数		人	338	352	360	360
	説明	参加人数を記載		目標値設定の根拠	気候条件や繁茂の状況によって駆除実施の規模が変わってくる。			

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法		<input checked="" type="checkbox"/> 決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/> 按分計算による算定								
○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度決算 3,120	平成21年度決算 2,793	平成22年度見込み 2,968	平成23年度見込み 2,968					
		%		89.5	106.3	100					
対前年比		A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)									
		B) 一般財源(税金)	3,120	2,793	2,968	2,968					
①事業費		(千円)	957	630	794	794					
対前年比		%		65.8	126	100					
②人件費の概算		(千円)	2,163	2,163	2,174	2,174					
対前年比		%		100	100.5	100					
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)		0.01 0.01 0.01	0.00 0.00 0.00	0.10 0.10 0.10	0.19 0.19 0.19	0.30 0.30 0.30	2,163	2,163	2,174	2,174	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない <small>生活苦情全般については区長会と連携中。犬の適正飼育等は狂犬病事務と連携中。廃棄物の適正処理及びアレチウリ駆除、出前講座は、衛生自治連合会と連携中。</small>
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない <small>環境全般の苦情は電話等で対応し、現地に向き状況を把握して対応している。河川水質測定は経過観察が主目的。検査結果の周知は今後検討。河川清掃等は住民の自主的活動として捉えている。</small>

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成21年度に「ごみ・資源物の減量と手引き」を全戸配布し、出前講座毎にそれを使用しながら、適正排出の周知をおこなっている。各地区の不法投棄防止及び環境美化活動については、各区及び衛生理事との連携強化を図っている。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

今後も各種の測定を継続実施することで環境の変化に注視していく。町民からの苦情等について迅速に対応し、精神的な苦痛を和らげるよう努める。アレチウリの駆除や河川清掃等については、区長会や衛生自治連合会等を通じて今後も啓発活動をおこなっていく。

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

昨今住民からの環境に関する苦情があらゆることに及んで来ている中で、各区の協力を得ながら啓発活動を実施する。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択